

<認知症と物忘れ>

「最近物忘れが多くなったな・・・」年を重ねるごとにそう感じることはありますか？人の名前がすぐに出てこなかったり、片づけた物の場所が思い出せないことで、このように思う時があるかと思います。もちろん加齢と共に起こる物忘れは仕方がないことではありますが、中には病気に関連しているかもしれない危険な物忘れの症状がありますので、それをご紹介します。

①短時間で同じことを何度も話してしまう。

②自分がした行動を忘れてしまう。

食事後にも関わらずまた食事をしようとする。何を食べたのか忘れるのではなく、食べた事を忘れてしまっている。

③昔からの知人の名前だけでなく存在を忘れてしまう。

加齢による物忘れは顔は記憶にあるが名前が出てこない事が多いが、「初めまして」のような初対面の会話になっている。

④日常生活の習慣を忘れてしまう。

習慣は頭で考えずとも感覚で行動をしますが、朝起きてまず、何をしたらよいか分からず困ってしまう。

⑤通り慣れた道で迷ってしまう。

上記のようなことが続いている人は認知症の恐れがあると考えられます。認知症はご存じの方も多いと思いますが、脳機能の低下により障害をきたす病気です。高齢の方に多いとされていますが、中には若年層にも発症する恐れがありますので年齢に関係なく周囲が異変に気付いたら専門病院のMRIで脳の検査を受けてみてはいかがでしょうか？